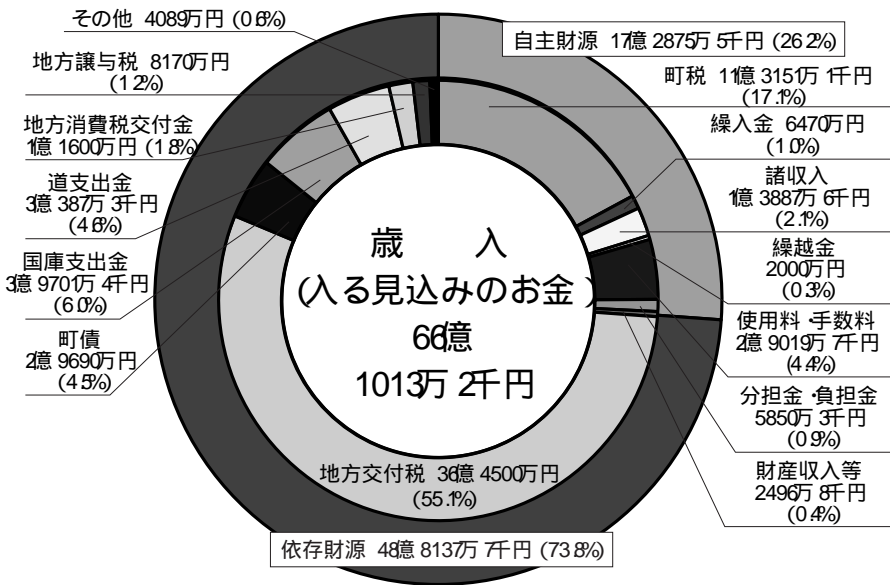


歳入



洞爺湖町の平成23年度予算が成立しました。

一般会計、各特別会計、企業会計を含めた予算総額は、106億1827万円で、前年度予算額106億3925万円に比べ0.2%の減となりました。

自主財源（自主的に収入する財源）の根幹をなす町税収入は、長引く景気の停滞により減

収を見込み、平成22年度に実施された国勢調査で大幅に減少した人口が大きく影響する地方交付税についても減少を見込んでいます。歳出では、平成22年度に実施した地方債の繰上償還などにより公債費は大きく減少しますが、依然多額で推移しております、この公債費が収支を圧迫している状況にあります。このた

一般会計

一般会計予算は、66億1013万円で、前年度予算額67億5454万円に比べ2.1%の減となりました。歳入における町税、地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方交付税等を合わせた経常一般財源は、町税及び普通交付税の

め、前年度同様、歳入不足が生じ（基金・貯金）からの補てん（埋める）による対応を余儀なくされました。

財政健全化計画3年目となる平成23年度予算は、計画を着実に前進させるべく人件費をはじめとする義務的経費の削減、受益者負担の適正化、事務事業の見直しなどの計画記載事項を実行に移し、財源の確保を図りつつ現行の行政サービスを維持することを目標に、事務事業の選別と財源の配分に努めました。

また、昨年は、町長の改選期にあたり骨格予算として新年度予算を編成しましたが、平成23年度におきましては、新町長の政策事項を盛り込み産業振興対策、雇用対策に重点を置いた内容となっております。

減が影響し、対前年度1.1%の減となりました。一方、歳出における人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、人件費と公債費の減が主たる要因となり、対前年度6.5%の減となりました。投資的経費のうち普通建設事業は、対前年度11.7%の減となり、史跡入江・高砂貝塚追加指定地取得事業、基幹作業道清水線整備工事、虻田漁港（大磯分区）整備事業などを計上し、災害復旧事業は、対前年度皆増となり、見晴台4号線外3災害復旧工事などの予算を計上しました。

歳入不足を補てんする（埋める）ため財政調整基金を、また各事業に充てるため、合併地域振興基金、観光開発基金などをそれぞれ取崩すことになっていますが、財政調整基金の取崩し額は、歳入不足額が減少していることから、財政健全化計画の数値より減少しています。

基金とは、家庭に置き換えることと貯金のこと。洞爺湖町には、財政調整基金や減債基金のように、歳入不足を補てんするために、歳入不足を補てんするためのものや洞爺地域ふれあい振興基金等のように、特定の歳入をもって特定の目的のために積立

特別会計

国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計における保険給付費の増により、5の特別会計予算総額は34億4561万円となり、前年度に比べ2.1%の増となりました。

水道事業会計

水道建設事業に伴う水道施設改良工事の増により、水道事業会計の予算総額は、5億6253万円となり、前年度に比べ0.1%の増となりました。

